



第209回 清陵勉強会



「ローカルファースト」の記者30年
信州と東京、外国人と日本人「ともにいきたい」

2025年8月26日(火) 19:00~20:30

*ハイブリッド開催

会 場: TIME SHARING Biz 品川A【品川駅5分】
東京都港区高輪3-24-18 高輪エンパイヤビル地下1階

「五色のメビウス」取材班代表として
第70回菊池寛賞、日本ジャーナリスト会議大賞受賞

講師: 牛山 健一氏(91年生) 信濃毎日新聞株式会社 総務局次長
経営戦略会議事務局長 兼 法務担当

演題 「ローカルファースト」の記者30年
信州と東京、外国人と日本人「ともにいきたい」

国政選挙で初めて外国人政策が争点になった先の参院選。「日本人ファースト」を掲げた政党が躍進しました。ただ私の取材では、日本の政治はずっと「日本人ファースト」でした。日本人を優先して政策を決定。国内の経済状況に応じて、外国人労働者の受け入れを調整してきました。

日本で暮らす外国人は昨年末時点で376万人余(長野県4万6850人、諏訪地域4828人)。彼ら彼女らがいないと、日本人の暮らしは成り立たちません。特に人手不足にあえぐ地方にとって技能実習生は重宝され、2019年に全国で41万人を超えました。

一方で、石破政権の「一丁目一番地」政策の「地方創生2.0」は争点になりませんでした。信州経済は浮上できない構造的な問題に陥っています。

私は入社以来、社是にある「郷土に立脚」した、いわば「ローカルファースト」の姿勢で、かつ、国際的な視点も忘れない報道を心がけてきました。

昨年4月、30年の記者生活を「卒業」し、経営戦略に携わるようになりました。起業家や投資家らと情報交換して実感するのは、東京をはじめとする大都市、それから外国人は、対立する相手ではない—ということです。「共に行きたい・生きたい」。そう思っています。

牛山 健一(うしやまけんいち)



略歴 1969年、茅野市生まれ。

早稲田大学政治経済学部卒業。

1994年、信濃毎日新聞社入社。

佐久、長野、飯山、伊那、東京で取材記者。県政キャップ、選挙デスク、東京支社報道部長を経験した「自称・政治記者」。

デスク時代にキャンペーン報道(長期連載)取材班代表を2回務め、1回目は若者の社会参加・政治参加がテーマ。2回目は、新型コロナ下の日本で働き、暮らす外国人を取り巻く問題に切り込んだ「五色のメビウス」。取材班は菊池寛賞、日本ジャーナリスト会議大賞を受賞した。

2024年4月、長野本社総務局次長・経営戦略会議事務局長。

<第209回清陵勉強会 開催概要>

日 時: 2025年8月26日(火) 19:00~20:30 (質疑応答を含む)*ハイブリッド開催

会 場: TIME SHARING Biz 品川A【品川駅5分】

東京都港区高輪3-24-18 高輪エンパイヤビル地下1階

<https://www.google.com/maps/place/35%C2%B037'56.6%22N+139%C2%B044'16.6%22E/@35.6323983,139.735372,17z/data=!3m1!4m4!3m3!8m2!3d35.6323983!4d139.7379469?entry=ttu>

会 費: 会場、ZOOM参加ともに 500円(懇親会参加者は別途3,500円)

*リモート参加の学生は無料です

申 込: ご出欠を8月22日(金)までに下記メールフォームにてお知らせください
ZOOM参加希望の方には前日までにリンクをお送りします

<https://forms.gle/dGg1R11iUkE7EJT98>

お問い合わせ

清陵勉強会事務局

seiryobenkyokai@gmail.com